



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 188802

エポオールNS-R

1. 塗料名 無溶剤形変性エポキシ樹脂塗料
2. 規格 NEXCO-P-12
3. 特徴 1) 無溶剤形のため有機溶剤中毒の危険がなく、引火爆発の危険性も少ない。
2) 旧塗膜との付着性に優れており、耐食性にも優れている。

4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	10kg セット(主剤 8.0kg、硬化剤 2.0kg)			
色相	黒、淡彩色			
密度 (23°C)	塗料	1.48 (黒)		
	揮発分	—		
加熱残分	100% (黒) (理論値)			
乾燥時間	温度	10°C	20°C	30°C
	指触	18 時間	8 時間	6 時間
	半硬化	40 時間	20 時間	16 時間
標準膜厚	120 μm			
引火点	SDS 参照			
発火点	SDS 参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS 参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容		
素地調整*	新設	塗替	
	動力工具処理 (G-c)	3 種	
調合法	主剤 80 部、硬化剤 20 部(重量比)		
可使時間**	10°C	20°C	30°C
	90 分	60 分	20 分
温度・湿度制限*	気温: 10°C 以下、30°C 以上、湿度: 85RH% 以上		
使用シンナー	エポオールシンナー A (洗浄用)		
塗 装 法	塗装方法*	刷毛塗り	
	希釈率	—	
	標準使用量*	300g/m ²	
	標準膜厚*	120 μm	
	ウエット管理膜厚	125 μm	
エアレス塗装条件	—		
塗装間隔* (20°C)	区分	新設	塗替
	最小	1 日	2 日
	最大	10 日	10 日

注) *は NEXCO 構造物施工管理要領(令和 6 年 7 月)による。

**は 2 L 缶に小分け調合した量での時間を示す。

6. 使用上の注意

- 被塗面のさび、油脂、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は、完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し十分に攪拌して均一な塗料状態にする。
- 低温(5°C 以下)になると乾燥と作業性が著しく悪くなり、また高温(30°C 以上)になると可使時間が著しく短くなるので塗装作業時の気温が 20°C~30°C の時期に行うと良い。
- 主剤と硬化剤を混合した後は可使時間以内に使い尽くすこと。
- 皮膚に付着して放置しておくとおそれがあるので作業時にはできるだけ皮膚にふれないように保護クリーム、保護具を着用するとともに、作業場所には局所排気装置等を設ける。
- 旧塗膜がタールエポキシ樹脂系塗料の上に塗装する場合、ブリードすることがある。

7. 関連法則

	主剤	硬化剤
危険物表示	指定可燃物	第 4 類第 3 石油類
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS 参照	SDS 参照
劇物表示	—	イソシアナミン 11.6

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDS をご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。